

施策評価シート

令和 5 年度

総合 体系 計画	分野	3	第3章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	福祉総務課
	施策No.	1	施策名	互いに支えあう地域福祉の充実	課長名 (施策統括責任者)	坂井 勝己
	関係課	福祉総務課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、自主的かつ継続的に地域の支え合い活動に参加し、地域の助け合いにより安心して暮らしている。
取組方針	市民の生活拠点である地域で、自分らしく安心して充実した生活が営めるように、地域住民による支え合いの仕組みや人づくり、相談機能の強化など、総合的で多機能な支援サービスの提供に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民に地域での福祉活動への参加を促すことにより、支え合いによって安心して生活を送ることができる地域づくりを目指す。						
成果指標 A							単位
地域での助け合いが行われていると感じている市民の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
70.9	71.2 73.1	72.0 73.6	72.7 77.3	78.0 78.5	78.7 0.0	79.4	
成果指標 B							単位
日常的に福祉活動を行っていると思う市民の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
31.0	31.2 28.4	32.7 29.6	33.5 27.5	33.5 28.6	34.2 0.0	35.0	
成果指標 C							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 D							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 E							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	

## 施策評価シート

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	40.8%	40.4%	↓
ある程度重要である	45.5%	44.0%	↓
あまり重要ではない	4.9%	7.0%	↑
重要ではない	0.9%	1.2%	↑
順位	20/36位	24/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	2.6%	3.5%	↑
どちらかといえば満足	44.9%	44.1%	↓
どちらかといえば不満	31.3%	31.4%	↑
不満である	4.6%	5.3%	↑
順位	22/36位	23/36位	↓

### 4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

- ・ 少子高齢化の進行
- ・ 支援を必要とする人の増加及び介護者の負担の増加
- ・ 生活困窮世帯の増加
- ・ 家族形態の多様化（核家族世帯、高齢者単身世帯、高齢夫婦のみの世帯の増加など）

### 5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

少子高齢化や人口減少などこれからさらに社会が変わっていく中で、地域で安心安全な暮らしを支える体制づくりを進めていくためには、住民同士の助け合い、支え合いによる地域づくりを推進し、地域の中でお互いの顔の見える関係、お互い様の関係を築き、助け合いの関係を築き上げていくことが必要。

### 6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

住民が自発的かつ継続的に支え合うことで、同じ地域で生活するみんなが孤立することなく、安心して安全な暮らしができることを目指す。